

ナッジと医療安全 2

- 開催日時：11月26日（日）16：20～17：20
 - 会場：第2会場（神戸国際展示場 2階 2A 会議室）
 - 座長：安井はるみ セコム医療システム株式会社
 - 講師：辰巳 陽一 近畿大学病院 安全管理センター医療安全対策部
- タイトル：医療安全活動をナッジで対応しましょう！

医療安全的な適応課題に対し対策を立案することは、重要なステップではあるものの、最も重要なことは、その対策が医療現場に行動変容ももたらす必要があります。ただ、ヒトが備え持つボトルネック（生産性にネガティブな影響を及ぼすクセやバイアス）のせいで、その対策が遵守されないことも少なくありません。これを、半ば強制的に実行させるというのが、これまでの医療安全の主な手法でしたが、このやり方はしばしば軋轢を生み、時に責める医療安全の印象を強くしてしまいます。

近年、人間は合理的に行動するという仮定に基づいた「古典経済学」に対し、ダニエル・カーネマンらが提唱した「行動経済学」は、ヒトは必ずしも合理的な行動を取らないことを前提に、合理性の限界や認知的なバイアスに焦点を当てることで、より現実社会に即した経済理論を展開しました。この行動経済学の理論を実務に応用する手法を「ナッジ」と呼びます。「ナッジ」は、ヒトの意思決定に影響を与える簡単な変更や刺激を通じて、「そっと肘を押しこと」で行動変容へと導く方法論であり、近年話題となっています。

本研修では、昨年引き続き。この行動経済学の考え方を、前向きな医療安全対策の立案に応用するために、特に、ヒトのクセである「ボトルネック」を心に留めつつ、医療者の肘をそっとつく方法を皆さんと共有したいと思います。

- ナッジと医療安全2 -

医療安全活動を行動経済学でナッジりませんか？



医療安全的な適応課題に対し対策を立案することは、重要なステップではあるものの、最も重要なことは、その対策が医療現場に行動変容ももたらす必要があります！「行動経済学」は、ヒトは必ずしも合理的な行動を取らないことを前提に、合理性の限界や認知的なバイアスに焦点を当てることで、より現実社会に即した経済理論を展開しています。この行動経済学の理論を実務に応用する手法を「ナッジ」と呼びます。本研修では、昨年引き続きこの行動経済学の考え方を、前向きな医療安全対策の立案に応用するために、特に、ヒトのクセである「ボトルネック」を心に留めつつ、医療者の肘をそとつづく方法を皆さんと楽しく共有したいと思います。

	日時・開催方法	講師	テーマ
第1部	2023年11月26日(日) 16:10-17:10 現地(神戸)開催 第18回医療の質・安全学会 学術集会2日目 ※現地参加定員200名先着順	講師：辰巳陽一 (近畿大学病院) 座長：安井はるみ (セコム医療システム株式会社)	医療安全活動をナッジで 対応しましょう！
第2部	2024年2月10日(土) 13:00-16:00 (講義+グループワーク) 第1部未参加の方は 第1部オンデマンド視聴を お申込みください	講師：辰巳陽一 (近畿大学病院)	医療安全対策をナッジを 使って展開してみましょう！

第2部参加申込について

開催方法	第2部 Zoomによるオンラインミーティング	
参加者	悩みを抱え、矢面に立ちながら日々奮闘している安全管理者のご参加をお待ちしています！	
参加費	会員：4,400円 (第1部内容をオンデマンド視聴希望の場合 5,500円) 非会員：9,900円 (第1部内容をオンデマンド視聴希望の場合 11,000円)	
定員	第2部：100名(事前申し込み・先着順)	

第2部参加申込は学会HPにてご案内いたします
(12月申込開始予定)

(<https://jsqsh.jp/>)



一般社団法人

医療の質・安全学会

Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

